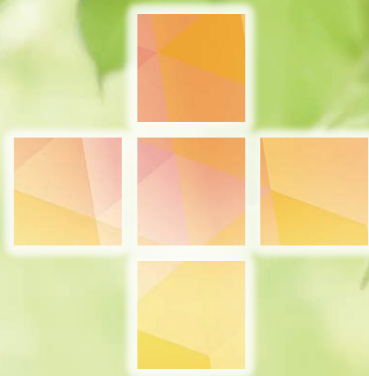




DREAMING

Heart of the Dreaming

私たちは「心温かい信頼の医療」を目指しています。

DREAMING INTERVIEW



ドリーミングインタビュー

プロフィール

外科医長 は じ よういち
土師 陽一 先生

出身：つくば市、高校から仙台へ

趣味：サッカー

略歴：仙北組合総合病院、東北大学病院
山形県立中央病院、いわき市医療センターなど



先生が医師を目指された理由を 教えてください

子どもの頃、風邪をひきやすく、自宅近くのお医者さんによく通っていました。また、小児喘息で、夜中に救急病院に連れて行ってもらって、吸入した記憶もおぼろげながらあって、小さい頃はとにかくお医者さんに“お世話になる身”でした。そういった経験と親からの誘導（笑）もあって、小学生の頃から「将来の夢は？」と聞かれると、決まって「お医者さん！」と答えていました。そして、「お医者さんになる」と言い続けて、幸運にも医師になることができました。



その中で外科を選んだ理由を 教えてください

大学卒業まで20年程サッカーをやってきたので、体育会系が染みついていて、自分自身、体育会系は外科というイメージがありました。サッカー部のOBの先生方にも外科の先生が多かった

こともあって、自然な流れで外科に進もうと思って、研修病院を選んだのが始まりです。

私が研修した病院は、大きいところではなかったのですが、ICUもなく、人工呼吸器をつけた重症の患者さんを外科病棟のリカバリー室で診ていたり、通常他科で診るような患者さんを外科で引き受けたりしていて、そういう環境に1年目から放り込まれ、経験を積んできました。保存的治療にせよ、手術にせよ、どんな治療の選択肢をとっても何とか患者さんを治して退院させるというのを肌で感じたときに、カッコいい言い方をすれば、なんでも助けられるのは外科医だなと思ったので、それにより一層外科で行こうと気持ちが固まり、最終決定しました。



診療の際に心がけていることは？

患者さんに話をさせること、話をしてもらうことを一番に心がけています。「ここが痛いなら、こうだね」と決めてしまえば簡単なんですけど、要

は準備した誘導尋問に乗せないということです。話を聞きだすよりも話をしてもらうことで、患者さんの今の状況を探ったり、情報を集めたりするようにしています。患者さんが「自分が言いたいことを言ってきた」と思えば、患者さんの満足度も上がるのかなという自分の勝手な思いもあります。

その他には、説明になるべく医学用語を使わないことを心がけています。外科はどちらかというとおじいちゃん、おばあちゃんを相手にすることが多い科なんです。「ドレーン」とか「創感染」なんて言われても、何のことか分からないですよ。医学用語が分からない高齢の方にも病気のことを理解してもらうために、なるべく言葉だけでも噛み砕いて話をするようにしています。患者さんに手術の説明をした後に、自分が何の病名で何の手術をするかも分かっていない患者さんがいるんです。今は自分の病気が分かっていないと治療できない時代になっているので、手術の説明の際

は、病名と何の手術をするかだけは覚えて帰ってもらうようにしています。



印象に残っているエピソードは？

特にこれというものは思い浮かびません。とらえ方の問題かもしれませんが、印象に残っているものと言われると、もっとこういう点があった、もうちょっと早く気づいていればこうなったかなという反省させられる症例は印象に残っているかな。この仕事に限らないと思いますが、そういう反省点があった症例を次に生かしていくことが大事なことだと思います。

先生のリフレッシュ方法を教えてください

学生の頃はずっとサッカーしかしてこなかったので、昔なら、サッカーと言えんですけどね。実際に若い頃は友達のリフットサルチームに誘っ

てもらったり、OBチームのサッカーの試合に出させてもらったりとか、体を動かしていましたが、最近はそういうことが全然なくなってしまいました。今は家族と過ごす時間がそのままりフレッシュなのかなと思います。

毎日のルーティンを教えてください

ルーティンと言えるものが特になんです。強いて言えば、朝起きて熱めのシャワーで目を覚まして、早くから病棟にあって、患者さん、看護師と話をし、朝のうちに病棟での仕事を終える、そんな仕事の習慣が毎日のルーティンと言えることでしょうか。以前に勤務していた病院での習慣がそのまま朝のルーティンとして身についています。

患者さんへのメッセージ

決して大きくはない総合病院の小回りのきく特性を生かし、「早く検査する」、「早く治療に繋げる」、そして、「患者さんの心配事をなるべく早く解消する」、そういう診療をしたいと思いますので、いつでも相談にきてください。

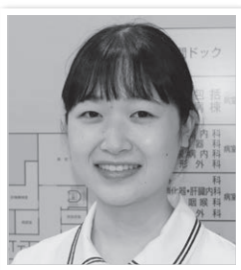
地域の医療機関の方々へのメッセージ

大病院のような若いパワーはないかもしれませんが（笑）、経験のある医師ばかりです。ご紹介いただいた患者さんには満足いただけるよう尽力いたします。もちろん病院の規模としての制限はあるかもしれませんが、ヘルニア、肛門外来、胆石だけでなく悪性疾患も含め対応できる病院ですので、ぜひご紹介ください。何分、外科医ばかりやってきた未熟者ですので、普段から、地域の先生方からのご指導いただきながら、一緒に診ていきたいと思っています。



フレッシュ・ボイス Fresh Voice

病院にやってきたフレッシュさんの
フレッシュな声を伝えるコーナーです。



看護師

かとう まりな
加藤 万里奈

《実際に働いての感想は？》

日々の業務では、まだ緊張や不安がありますが、先輩方が丁寧に教えて下さるので、少しずつ出来ることが増えてきました。働いてみて嬉しかったことは、患者さんが手術をして元気に退院していく姿を見たり、患者さんより感謝のお言葉を頂いたときはとても嬉しく思います。また、少しでも患者さんの役に立つことが出来たときは、看護師としてのやりがいを実感しています。病院のお気に入りのところは、正面玄関向かいの桜の咲いた風景です。入職時はとても緊張しましたが、満開の桜を見て地元酒田の日和山公園の桜を思い出し、気持ちが和みました。入院や手術は、誰にとっても不安の伴うものだと思いますが、そのような患者さんの気持ちに寄り添い、日々、最善を尽くしていきたいと思っています。

《これからこんな看護師になりたい》

今後、多くの経験を積み、正しい知識と技術を身に付け、素早い判断と行動ができるような看護師になりたいです。また、日々、患者さんに笑顔で接し、患者さんの気持ちに寄り添える看護師を目指して努力していきます。

《実際に働いての感想は？》

働き始めは学生と違って覚えることに精一杯でした。そんな中、先輩方に支えて頂きなんとか頑張っているところです。うれしかった事は、東北中央病院の看護師になったことです。その理由は、私が中学生の頃、父が入院した時に看護師さんの温かい対応を見て看護師を目指すようになったのですが、その病院が東北中央病院だったからです。今はその一員として働けることがうれしいです。また、先日父が自分の病棟に入院し、看護師となった自分の姿を見せることができ、感慨深い思いでいっぱいになりました。病院のお気に入りのところは、朝日が廊下を明るく照らす光景です。夜勤の疲れが一気に吹き飛んでしまうくらいの美しさに元気をもらっています。

《これからこんな看護師になりたい》

新しく覚える業務や責任も増えますが、初心を忘れず1人1人の患者さんに向き合えるような看護師になりたいです。そのために、患者さんの思いをしっかりと聞き優しく丁寧な対応を心がけていきます。また、命をお預かりする身として責任を持ち患者さんに「信頼できる」と思ってもらえるよう経験と勉強を重ね成長していきたいです。



看護師

さいとう まりな
齋藤 真利奈

縁の下の力持ち!



栄養管理室 調理師 編

病院では医療を提供するため、医師、看護師など直接患者さんに関わる仕事のほか、さまざまな仕事があります。今回は患者さんと直接関わらないけれど病院を支える仕事、病院の「縁の下の力持ち」を紹介します。

1. 栄養管理室ってどんなところ?

栄養管理室は、管理栄養士4名、調理師12名、調理作業員6名、合計22名のスタッフで構成されています。

栄養管理室では、入院中の食事は治療の一環であると言われていくことを意識し、「安全で的確な食事の提供」「個々の患者にみあった栄養管理の実施」を目標に掲げ、患者さんの1日も早い健康回復を図るため、美味しく調理しより良い食事の提供に努めております。



2. 調理師について

私達調理師は、管理栄養士の立てた献立をもとに衛生管理には十分配慮し、調理を行っています。

旬の食材を使用し、季節感あふれるメニューに合わせて、決められた材料や調味料の中で美味しく出来るよう日々腕を振るっております。

また、盛り付けにも気を配り、「温かい食事は温かく、冷たい食事は冷たく」お召し上がりいただけるよう温冷配膳車を導入し、食事を楽しみにして下さってる患者さんのもとに届けています。

3. 調理師のしごと

病院食は、適時の食事として、朝食7:45、昼食12:00、夕食18:00に提供されます。

それに合わせて調理師の勤務帯は、早番(5:00~14:00)、中番(9:00~17:45)、遅番(11:00~19:45)、仕込み(8:45~17:30)、洗浄(8:30~15:00)の交代勤務になっております。

業務内容は、調理・盛り付け・配膳・仕込み・洗浄業務に分かれ行っております。提供する時間から逆算して準備しておりますが、喫食2時間前調理を意識しております。1日を通して約500食もの大量調理となりますが、1食(約200食)の朝食は4人体制で、昼食から中番と遅番が順に加わり昼食・夕食は6~8名体制で作っております。

食事の種類は、常食・軟菜食・分粥菜食などの「一般食」、病態に応じたエネルギーコントロール食、塩分コントロール食などの「特別食」、お正月・お盆・開院記念日といった祝日のお祝いや行事に合わせて提供される「行事食」があります。

最近では、特別メニューの一環として「パン食」を提供しております。ご希望の際は、お声がけください。(療養上支障がある場合は、お受けできないときもありますのでご了承ください。)

また、患者さんの嚥下状態に合わせて食形態やアレルギー情報にも対応するため、管理栄養士とスタッフともコミュニケーションを取りながら業務にあたるよう努めています。



4. 最後に

日々の業務において、患者さんからの「美味しかった」「全部食べることができた」などの喜びの声やお礼のお手紙、メッセージをいただいたときは大変嬉しく思い、病院調理師としてとてもやりがいを感じます。これからも、引き続き食事を通して患者さんの治療のサポートが出来るよう、栄養管理室一同精進して行きたいと思っております。

この連載では、地域医療連携でお世話になっている施設が、どんな医療を展開しておられるのか、お話を伺っています。



プロフィール

- ☆院長 **横山 智** 先生
 ☆診療科目 【内科・外科・小児科・消化器内科・
 肛門科・アレルギー科】
 ☆いつ開業 2023年1月
 ☆スタッフ 横山智院長、横山新吉副院長、
 横山大医師（非常勤）、
 看護師4名、事務3名

◆受付時間◆

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~15:00	★	▲	★	／	★	／
15:00~17:30	○	○	○	／	○	／

<★：小児予防接種（月・水・金）、▲：乳幼児検診（火）は予約制です。お電話にてご予約ください>

※14:00~15:00は小児検診および予防接種優先です

※急患は随時受け付けます

●発熱外来：診療時間内は随時対応します。
 事前にお電話でお問い合わせください。

〒990-2432 山形市荒楯町2-20-21
 TEL023-622-8822

このたび、山形市荒楯町の横山小児科医院を承継、診療科目を拡大して2023年1月より横山クリニックを開業致しました。これまで地域の皆様にご評価いただいていた小児科・アレルギー科部門に加え、内科・外科・消化器内科・肛門科を新たに標榜し、小児から成人まで幅広い医療ニーズに応えることができるようになりました。

当クリニックでは、優れた専門知識と経験を持つ医師とスタッフが、患者様一人ひとりに丁寧で個別化された医療を提供しています。内科・消化器内科では、一般的な健康問題や慢性疾患に対する診療に加え、最新の内視鏡機材を取り揃えて早期の疾患発見に努め、患者様の健康管理と予防に力を注いでいます。外科・肛門科では、小手術や外傷の治療・肛門周囲良性疾患の治療に加え、他院外科手術後のフォローアップも行っています。小児科・アレルギー科では、お子様の健康と成長をサポートし、アレルギー性疾患の診断・治療に取り組んでいます。また、常時発熱外来を開設しており、ドライブスルーでの診療を実施しております。

開業前の8年間は東北中央病院に勤務しており、田中病院長はじめ外科の先生方には大変お世話になりました。紹介患者の精査や入院対応などで良い連携を保ち、地域医療に貢献できるよう精進してまいりますのでよろしくお願い致します。



病院NOW!

病院のいちばんHOTな
 情報をお届けします

**メンタルヘルス相談
 ~オンライン相談~**

当院では、公立学校共済組合員とご家族の方（被扶養者）の方を対象に、「メンタルヘルス相談」を実施しております。

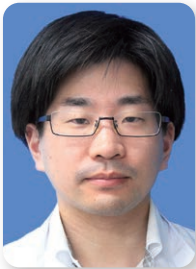
ご家族のこと、お仕事のこと、ご自身の体調など、誰にも相談できなかった思いや悩みを専門のメンタルヘルスカウンセラー（医師・公認心理師・臨床心理士）に相談してみませんか？

土曜日の相談日も設けておりますので、お仕事の都合を付けずにご利用いただくことも可能となっております。

また、これまでの対面・電話での相談体制の他、オンライン（Web）での相談も始めました。令和4年度のオンラインによる相談は、令和3年度の2倍の件数となっており、多くの方に活用いただいております。（電話やオンラインの場合、相談者様の事情をよく知るために、初回相談のみ対面で行わせていただいております。）

メンタルヘルス相談は、完全予約制です。まずは、お電話で相談ください。
 予約専用電話 0120-81-4898（フリーダイヤル）

新任医師紹介



氏名 の がみ 野上 健
 診療科 消化器・肝臓内科
 出身地 埼玉県さいたま市
 趣味 読書

4月に山形大学医学部第二内科より異動しております。
 大学入学から山形に居着き、平成29年に山形大学を卒業し、これまで日本海総合病院、山形済生病院で勤務して参りました。
 日々、より適切な診療を目指し精進していきたいと思っております。
 どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

人間ドック通信

今年度より、宿泊ドック及び日帰りドックでは新たに「ホルモン年齢ドック」「酸化ストレス度・抗酸化力セット (d-ROMs, BAPテスト)」「N-NOSE (線虫がん検査)」の3つのオプションが新規に追加となりました。今回の人間ドック通信では、このうちの1つであるオプション「**ホルモン年齢ドック**」をご紹介します。

ホルモン年齢ドックとは？

ホルモン年齢ドックとは、**年齢との比較で必要なホルモンバランスを測定する血液検査**のことです。ホルモンバランスの乱れを知り、改善することで体調不良や老化などの防止に役立ちます。測定するホルモンは、加齢により減少することが知られている項目である、「IGF-I」、「DHEA-s」、「コルチゾール」、「DHEA-s/コルチゾール比」の4つの指標を測定します。ホルモンバランスの崩れや減少は、「血糖値異常」や「血圧異常」のような症状を引き起こします。よって、健康を維持するためには、なるべくホルモン状態を若く保つことが重要です。

こんな方におすすめ
 します！

- | | Check ✓ |
|----------------|--------------------------|
| 1. 食生活に気を使わない | ☐ |
| 2. 肌の調子が悪い | ☐ |
| 3. 不規則な生活をしている | ☐ |
| 4. ストレスを感じている | ☐ |
| 5. 運動不足だと感じている | ☐ |
| 6. 疲労が抜けない | ☐ |

3つ以上当てはまる方は要注意です！

一度、ホルモンのバランスやホルモンの年齢をチェックしてみませんか？

料金は**税込11,000円**です。

お申込みは宿泊人間ドック又は、日帰りドック受検の際、当日受付にて承ります。（事前予約は不要です。）現在は、女性の申込が多くなっていますが、男性の方も申込み可能ですので、気になる方は是非お申し込みください。

また、その他オプションも多数揃えておりますので、お気軽にご相談下さい！

東北中央病院 健康管理係 TEL：023-623-5185・5186

編集 後記

夏バテならぬ「秋バテ」を知っていますか？
 近年、9月の秋口に入ってから自覚する夏バテに似た症状を、「秋バテ」と呼ぶそうです。まだまだ暑いと感じていても、季節は少しずつ秋へと変わり始めています。夏の疲れをしっかりとリセット、早めの秋バテ対策を心掛けたいですね。
 爽やかな秋を満喫しましょう！（K.S）

公立学校共済組合 東北中央病院

〒990-8510 山形市和合町 3-2-5
 TEL 023-623-5111 FAX 023-622-1494
<https://tohoku-ctr-hsp.com>
 E-mail: jimu@tohoku-ctr-hsp.com

■発行責任者／田中靖久 ■編集／広報委員会

東北中央病院
 ホームページへ
GO!

ご利用の携帯端末によっては、アクセスできない場合があります。

